

平成28年度 第37回九州小学生親善ハンドボール大会 競技規則

- 1 本大会は、平成28年度日本ハンドボール協会競技規則に準じて行うが、小学生大会における申し合わせ事項も準用する。
- 2 試合時間と競技規則
 - 試合時間は、予選リーグ、交流戦は8分-3分-8分-3分-8分、決勝トーナメント10分-5分-10分-5分-10分で行う。
 - 試合形式は、予選リーグ後、各パート上位2チームの計8チームでの決勝トーナメントとする。
 - 競技会場の時計表示は加算式のデジタルタイマーを使用する。
 - 競技終了の合図は、ブザーまたは笛の合図とする。
 - 退場時間は予選リーグ、交流戦は1分間とする。決勝トーナメントは2分間とする。(オフィシャル席に表示板を置く、入場はチームの責任によって行う)
 - 松ヤニ・松ヤニスプレー・両面テープは禁止とする。
 - チームタイムアウトは決勝トーナメントのみ、試合で1回請求できるものとする。タイムアウトの要求は、自チームがボールを所持している時のみできる。
- 3 競技会場
 - 競技会場は、山鹿市総合体育館(予選リーグ、男子決勝トーナメント40m×20m) 鹿本町民体育館(予選リーグ、女子決勝トーナメント40m×20m)、オムロン鹿陽センター(予選リーグ、男子交流戦40m×20m) 鹿央町公民館(予選リーグ、女子交流戦40m×20m)とする。
- 4 大会使用球
 - 大会試合球は、(公財)日本ハンドボール協会公認1号球(モルテン・ミカサ)を使用する。
- 5 トス・ユニフォームの確認
 - ユニフォームの確認は、第1試合は試合開始15分前、第2試合以降は、1セット後のハーフタイム時にオフィシャル席前で行う。各チームは着用するすべてのユニフォームを持参し、レフェリーの承認を得ること。トスはレフェリー立ち会いの下、オフィシャル席前で行う。
 - アンダーシャツ、アンダーパンツに関しては起立した状態でユニフォームから見えていなければ、ユニフォームと同色でなくても可とする。特に襟元等ユニフォームから見えなければ出場を認める。
- 6 チームの構成
 - チームは役員4名、選手20名以内で構成され、代表者会議にて承認されなければならない。
 - 各試合前にチーム役員・選手の登録証をオフィシャルがまとめて確認する。
- 7 公式記録用紙への確認サイン
 - チーム責任者は、試合開始前に公式記録用紙にチームの役員及び選手の氏名と番号が正しく記入されているか確認し、サインする。(記録用紙に記載されている者だけが交代地域へ入れる)
- 8 交代地域での飲料水の使用
 - 飲み口の細い容器を使用し、フローアをぬらさないように十分注意する。
- 9 予選リーグでの順位決定
 - 順位決定は次のポイント方法で行う。(勝ち 2点、引き分け 1点、負け 0点)
 - (1) ポイントの多いチームを上位とする。
 - (2) 同ポイントのチームが2チーム以上になったときは以下の手順で決定する。
 - ① 当該チーム間直接対決で勝ったチームが上位
 - ② 得失点差の多いチームが上位
 - ③ 得点が多いチームが上位
 - ④ 抽選
- 10 決勝トーナメントの勝敗決定
 - 勝敗の決定は次の方法で行う。
 - (1) 準々決勝、準決勝は正規の時間終了後直ちに代表者3名による7mTCを行い、勝敗を決定する。
 - (2) 決勝戦は、第1延長のみ行う。この際、5分間休憩し、延長を3分-1分-3分で行う。それでも勝敗が決しない場合は、代表者3名による7MTCを行い、勝敗を決定する。
- 11 チーム責任者マークについて
 - チーム役員は、首から下げるA~Dカードを着用すること。競技規則に適合しない判定に対して異議を申し立てができるのはAカードを下げた役員だけである。